

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	XELOX 療法におけるデキサメタゾンの投与期間短縮による制吐効果の検討		
1. 研究の目的と方法	「大腸がんの手術後に行う化学治療（XELOX 療法※）で使われる吐き気止めのお薬について」調査を行っています。 この治療では、デキサメタゾンというステロイド薬を吐き気止めとして使うことがあります。ただし、このお薬には不眠や血糖値の上昇などの副作用が出る場合があります。 そこで今回の調査では、デキサメタゾンの使用期間を1日のみにした場合 ・治療薬が減量または中止された患者さんがどれくらいいたか ・その理由は何だったのか（副作用があったのか、患者さんの希望だったのかなど） ・その結果、治療に影響が出たか（治療が続けられたか、吐き気が強くなったかなど） を、患者さんのカルテ（診療記録）を使って調べます。 ※カペシタビン錠とエルプラット点滴静注を使用した療法		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2022 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に大腸癌術後補助療法として XELOX 療法を施行された患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査）、使用した薬剤	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。		
	試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属病院薬剤部
		氏名	安藤 尚美
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 10 月中旬～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院薬剤部 研究責任者：安藤 尚美（アンドウ ナオミ） 電話番号：03-3433-1111（内線 5331） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。